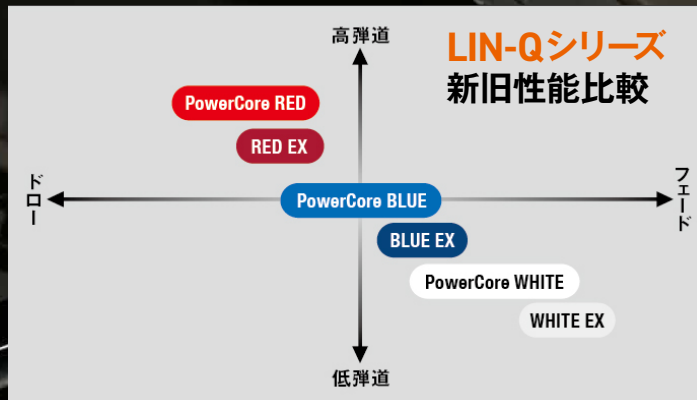


最高峰の舞台で高評価につき緊急輸入された！

フジクラの両極の新作に対し「幅広く使えると真ん中」がUSTマミヤ「LIN-Q PowerCore パワーコアブルー」だという。前作『ブルーEX』よりも万人に合う理由は素材の違いもあるとか。

「パリッと高級素材のハリ感がある前作は、パワーのある人がしなせると復元も鋭い半面、ハードに感じる人が多めでした。新作はその打ち手を選ぶ感じが全くなくて超オーソドックスな中元系。タイミングも取りやすく速すぎない復元が扱いやすく誰でも打てるやさしさを感じさせます。これが苦手な人は皆無だし、合わないヘッドもない。【現代で一番と真ん中なモノが出てきた】と感じますね」

初代『ベントスブルー』の人氣に火が付いた時を彷彿させるという「初代ベントスより手元もやしっかりでモタつきが僅かで、目立った特徴がない代わりに弱点も全くないです」。面白みはないが、リシャフトに付き物な「合わない失敗が無いことが最大の魅力」と評価していた。



「どニュートラルだと打てば分かるし、ここ数年の他社作ぶくめ本当の意味でのど真ん中。このシャフトが『苦手』な人が存在するの？と言いたいくらい」

UST Mamiya

LIN-Q PowerCore BLUE

●調子/中元 ●フレックス(重量・トルク) / 5R(57g・4.0) 5S(58g・3.9) 6S(68g・3.5) 6X(72g・3.5) 7S(77g・2.9) 7X(77g・2.8) ●価格 / 55,000円

あらゆるヘッドで追従性がよく
練習不足でも正確にしなり戻る！

ピン・キャロ
何でもOKな
万能シャフト

USTマミヤ製品を知り尽くす吉川が「過去イチ」!? 『LIN-Q PowerCore』の青は現代のど真ん中!!

両極の2モデルを展開してきたフジクラに対し、「1本で幅広くカバーする超ど真ん中」というのが、USTマミヤの新作『LIN-Q PowerCore BLUE』だ。元々同社出身で全てのシャフトを知り尽くす吉川も今回は「過去イチかも…」と唸る。

中調子『V2』と前作のちょうど中間で硬すぎず万人に合うシャフト

「張りが強すぎず、変な動きや反応がないから、どんな人もタイミングが取りやすく打ち手を選ばないことが特徴。前作と名器『V2』のちょうど間に入ってくる印象です」

準備運動なしでも安定性抜群！高MOIヘッドも相性◎

「硬い前作は体を温めて打つ必要があったけど新作は練習せず『クアンタムMAX』の一発目から右下のドロー。PINGに替えても扱いやすくストレート系しか出ない」

43.0	63.7
10.9	2406
19.5	1.48
213.1	244.4

42.5	63.5
8.6	2053
13.8	1.49
195.1	236.1



◀ バランス型の『クアンタムMAX』(右)で持ち球のドロー、10Kの『G440K』でストレートと練習無しでどんなヘッドも枠内に

一見すると全て同じに見えるコスメだが、『LIN-Q』の白ロゴの下の差し色が3モデル、ブルー、レッド、ホワイトで異なる。 ※レッドとホワイトは、2026年夏季発売予定

PGAツアーで昨年3勝のベン・グリフィンが絶賛し 人気が広がっている!

PGAツアーで昨年3勝した、ベン・グリフィンが昨年『LIN-Q PowerCore WHITE』で活躍したことで火がつき、多数の選手に人気が拡大中